

作成例

スギ林保全対策モデル事業 標準地状況写真 魚沼自治会



※標準地について
実施面積の中から平均的な生育状況数を管理する方法です。補助対象要件(スギの割合が7割以上・間伐率概ね3割)を満たしているか確認します。

- ①標準地は申請面積が0.10ha～0.40haで1つ、0.41～0.80haで2つ、0.81～1.00haで3つ設定します。
- ②大きさは1標準地につき、10m×10mの正方形とし、ビニールテープ等で周囲を杭や枝に結び作成します。
- ③上記イメージで全体が確認できるよう、標準地状況写真を撮影します。
- ④テープの内側にスギ及びその他樹木が何本あるか、木に付番しながら標準地状況集計表を作成します。
- ⑤灌木などの細い雑木(概ね18cm以下)はカウントしません。

注意) 標準地内のスギの割合が7割を下回った場合は、本事業の対象外とします。